

災害と文化遺産

—歴史資料レスキューの取り組み—



2012年7月7日(土)

13:30 ~ 16:00

鹿児島大学郡元キャンパス

総合教育研究棟 203号室

入場無料



講師：松下正和

(近大姫路大学講師・歴史資料ネットワーク副代表)



講座と水損史料の応急処置ワークショップ
を行います

ワークショップ

吸水乾燥と汚損資料の洗浄
(大事な紙製のものを水に濡らしてしまったときの救済法です)

東日本大震災や奄美豪雨災害では文化財や博物館が被災しました。

阪神大震災を契機に立ち上がった文化財の被災問題の

研究と、そのレスキュー活動の実践について学び、災害が多発する鹿児島県の今後について考えましょう。

とくに、文化財保護法の指定を受けていない歴史資料が被災したときは公的な救出の対象外となります。各地域や個人が大事にしてきたモノ(資料)をいかに救うか、歴史資料を通して地域復興とは何かを考えます。



鹿児島大学総合研究博物館

890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30

099-285-8141(博物館代表) <http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/>